



校長だより

R 4 . 4 . 8

保護者の皆さま、館林特別支援学校 校長小林一雅と申します。昨年度に引き続きということで、2年目となります。どうぞ、よろしくお願いいたします。平成28年4月から平成31年3月まで、教頭として勤務させていただきましたので、通算すると本校5年目となります。平成28年に赴任した時に小学3年生の子どもたちが、今年度中学3年生となりました。大きく成長した姿に、日々、嬉しさを感じています。その子どもたちもあと1年で卒業となります。次のスタートラインに安心して立てるように、支援を行っていきたいと思います。

令和4年度の学校経営についてです。まずは、学校のあるべき姿とは、「すべての子どもたちが毎日、学校に行きたくなるような学校」であると考えています。そのためには、一人ひとりの子どもの特性や発達を理解し、気持ちに寄り添いながら指導をしていくことが大事です。そして、授業や行事、学校生活は子どもたちがワクワクするようなものとなるようにしなければなりません。その考えのもと、本年度の重点目標を次のとおりとしました。

- (1) 「あいさつ」をしたり、相手へ感謝の気持ちを伝えたりすることができる力を育てていく。
- (2) ICT機器の活用について、授業における実践と教職員のスキルアップに学校全体で取り組んでいく。
- (3) 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、児童生徒や保護者とともに身近でできることは何かを考え、取り組んでいく。
- (4) 適切なアセスメントによって、一人ひとりの課題やニーズを的確に把握して「個別の指導計画」を作成し、個に応じた指導を実践していく。
- (5) コロナ禍でも児童生徒が充実した学校生活を送れるように、感染防止対策を取りながら、実施方法や指導の工夫を図っていく。
- (6) 学校間交流、居住地校交流、地域との交流等を積極的に進め、児童生徒の交流体験を増やしていく。
- (7) キャリア教育について、自己肯定感、自己有用感を高めることであるという視点で指導を行っていくとともに、保護者への啓発に努める。
- (8) 交通安全教室や避難訓練等を通して児童生徒の安全教育を進めるとともに、緊急事態が発生したときに的確な対応をとることができるようにする。
- (9) 授業公開やホームページ、学校からの通信等を通して、学校の情報を積極的に発信し、本校の教育活動への理解を促進していく。
- (10) 学校全体で人材育成や研修活動に取り組み、組織能力と個人の専門性・指導力を向上させていく。

新型コロナウイルス感染症の収束もなかなか見通せない状況が続いています。今年度も、「できることは何か」を考えながら、工夫をして教育活動を行っていきたいと思います。保護者の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【1学期 始業式 あいさつ】

皆さん、おはようございます。
今年もまた皆さんと過ごすことができるので、とっても嬉しいですよ。
春休みは楽しく過ごせましたか？
桜の花を見ましたか？
黄色い花も咲いていましたね。菜の花といいます。
とってもきれいですね。

さて、今日から新しい学期が始まります。
皆さんは1つ学年が上がりました。
1年生は2年生に、2年生は3年生になりました。
明日から、新しい1年生と一緒に過ごします。
皆さんはお兄さん、お姉さんです。優しくしてあげてくださいね。

昨年は、みんなで「あいさつ」をしましょうとお話をしました。
みんなよくできていましたよ。
今年もまた元気に「あいさつ」をしていきましょうね。
そして、今年はさらに、「ありがとう」とお礼の気持ちを伝えることができるといいと思います。
お友達が、ものを貸してくれたとき「ありがとう」、手伝ってくれたとき「ありがとう」とこんなふうに使います。

それでは皆さん、今年も楽しいことがいっぱいですよ。元気に頑張ってください。

